東京外国語大学
国際日本研究センター比較日本文化部門 主催

東アジア連続講演会

境界と路上を考える

特別企画

沖縄「復帰」五〇年という問い

■ 2022年6月11日～8月6日（全6回）14時から

■ ZOOMにて（ZOOM ID: 847 0652 9757、PASS: 185358）

■ 一般公開、お申し込み不要

1972年5月15日、沖縄は日本に「復帰」した。だが、日米間の施政権「返還」は、沖縄が「復帰」に託した抗議や問いかけを解消するどころか、問題をより複雑にした。以来半世紀。沖縄では軍事力の機能強化が格段に進み、日本による＜包摂＞と＜排除＞もとどまるところを知らない。「復帰」の現実に抗議した人々の声は、今日もいたるところに谺し続けている。50年という時をふまえ、戦争と占領に対峙する沖縄の「いま」を考えたい。

◆ プログラム ◆

6月11日（土）：戸邉 秀明 氏　「復帰後史、その半世紀の意味」
6月26日（日）：佐喜眞 道夫 氏
「沖縄という場所からアートを考える」
7月　9日（土）：川満 昭広 氏 × 上原 こずえ 氏
「民衆の視点からの体験の継承と出版」
7月23日（土）：今 郁義 氏 × ウェスリー 上運天 氏
「コザ暴動が問いかけた「復帰」」
7月24日（日）：若林 千代 氏　「戦争と米軍占領、そして今」
8月　6日（土）：中野 敏男 氏　「東アジアと沖縄」

【オンライン開催にあたってのお願い】
・ミーティングルームは開始10分前に開室いたします。
・入室の際は「本名」および「所属」を明記ください。

共催：呉世宗研究室（琉球大学、tejiji527@gmail.com）
基盤研究（B）社会運動における生存権・生存思想の影響とその社会に関する基礎的研究（研究代表：友常勉）

お問い合わせ先（国際日本研究センター）Tel: 042-330-5794 E-mail: info-icjs@tufs.ac.jp